



魚本 健人



安岡 善文

合理的・耐久的な都市システムの構築を目指して

サステナブル都市システム研究委員会

RC-39

1. 代表幹事

魚本健人（東京大学 生産技術研究所 教授）
 安岡善文（東京大学 生産技術研究所 教授）
 目黒公郎（東京大学 生産技術研究所 教授）
 大岡龍三（東京大学 生産技術研究所 助教授）
 加藤佳孝（東京大学 生産技術研究所 講師）
 須崎純一（東京大学 生産技術研究所 講師）

連絡先

RC-39事務局(ICUS)
 Tel : 03-5452-6472
 Fax : 03-5452-6476
 e-mail : icus@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

現在、都市には様々な構造物が存在しているが、都市の安全を考えるとあらゆる災害に対しても十分対処できるようなより合理的な構造物とすることが必要である。何時生じるかもしれない災害のために大量の経費をかけることは望ましいとは言えず、また、例えば建設時にはこのような要求に見合うようなものであっても、経年劣化によりその安全性が脅かされるようになっていけなくなる。

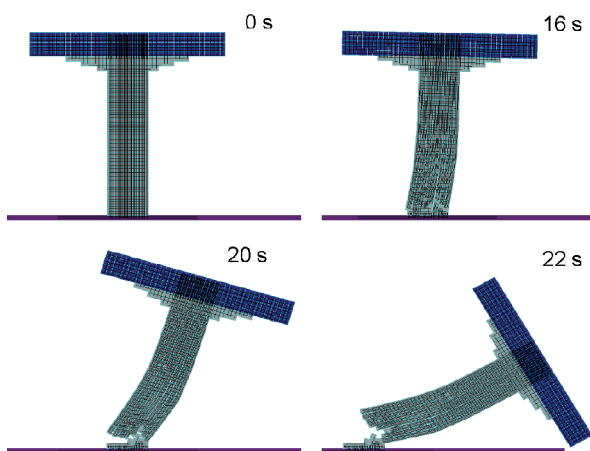
そこで、本研究委員会では、より災害に対して安全で耐久的な都市基盤を構築するために必要な技術開発の検討を ①老朽化構造物 ②地球環境 ③防災の観点から行うとともに、新しい設計・施工方法や計測方法の開発を行う上で考慮すべき事項を検討している。

3. その他

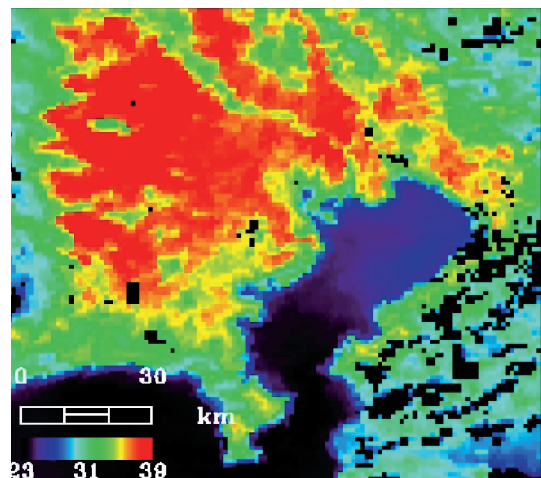
期 間 : 原則として2004年4月～2006年3月までの2年間とする。

年会費 : 1社当たり10万円/年とする。

運用方法 : 参加会社による現状調査、文献調査等を行うとともに、各分野の考え等を整理して新しい技術（ハード、ソフト）の開発すべき事項を抽出する。



応用要素法（AEM）によるRC橋脚の崩壊挙動シミュレーション



都市のヒートアイランド（東京）